

---

## 阿南駅周辺まちづくり基本計画

---



---

令和5年10月  
阿南市

---

表紙、p.31、裏表紙に掲載のイメージパースは、阿南市出身でニューヨークに在住の「阿南市魅力ある都市づくり審議会委員」吉原弘記様よりご提案いただいたものです。

なお、これらの掲載したパースは日常のシーンをとらえたイメージであり、施設整備の詳細を確定したものではありません。

# 目 次

## 1. はじめに

- 1) まちづくり基本計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2) 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3) 計画策定の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 4) 本計画の対象区域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

## 2. 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

## 3. まちづくりの課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

## 4. 市民等からの意見・要望

- 1) 各種アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 2) まちづくりワークショップの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 3) 関係団体ヒアリング調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 4) 企業等ヒアリング調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

## 5. まちの将来像(居心地の良い暮らしのシーン)・・・・・・・・・・18

## 6. まちづくりのコンセプト及び基本方針

- 1) まちづくりのコンセプト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- 2) まちづくりの基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

## 7. 公共用地等における整備活用方針案

- 1) 段階的な取組の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 2) 短期的に推進する取組(市民会館解体跡地における整備方針の具体化)・22
- 3) 中長期的に推進する取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

## 8. 対象エリアのグランドデザイン(将来イメージ)・・・・・・・・・・31

## 9. 事業計画

- 1) 阿南駅東側 . . . . . 32
- 2) 阿南駅西側 . . . . . 33

## 10. 実現化方策

- 1) 新図書館複合施設における整備運営手法について . . . . . 34
- 2) 新図書館複合施設の施設配置イメージ . . . . . 35
- 3) まちづくりの推進体制について . . . . . 41
- 4) 事業スケジュール(案) . . . . . 42

## 1. はじめに

### 1) まちづくり基本計画策定の趣旨

近年、阿南駅周辺地域においては、人口減少、空き店舗や空き地の増加、公共施設の老朽化等の課題が深刻化し、本市の中心市街地としての機能低下が危惧されています。

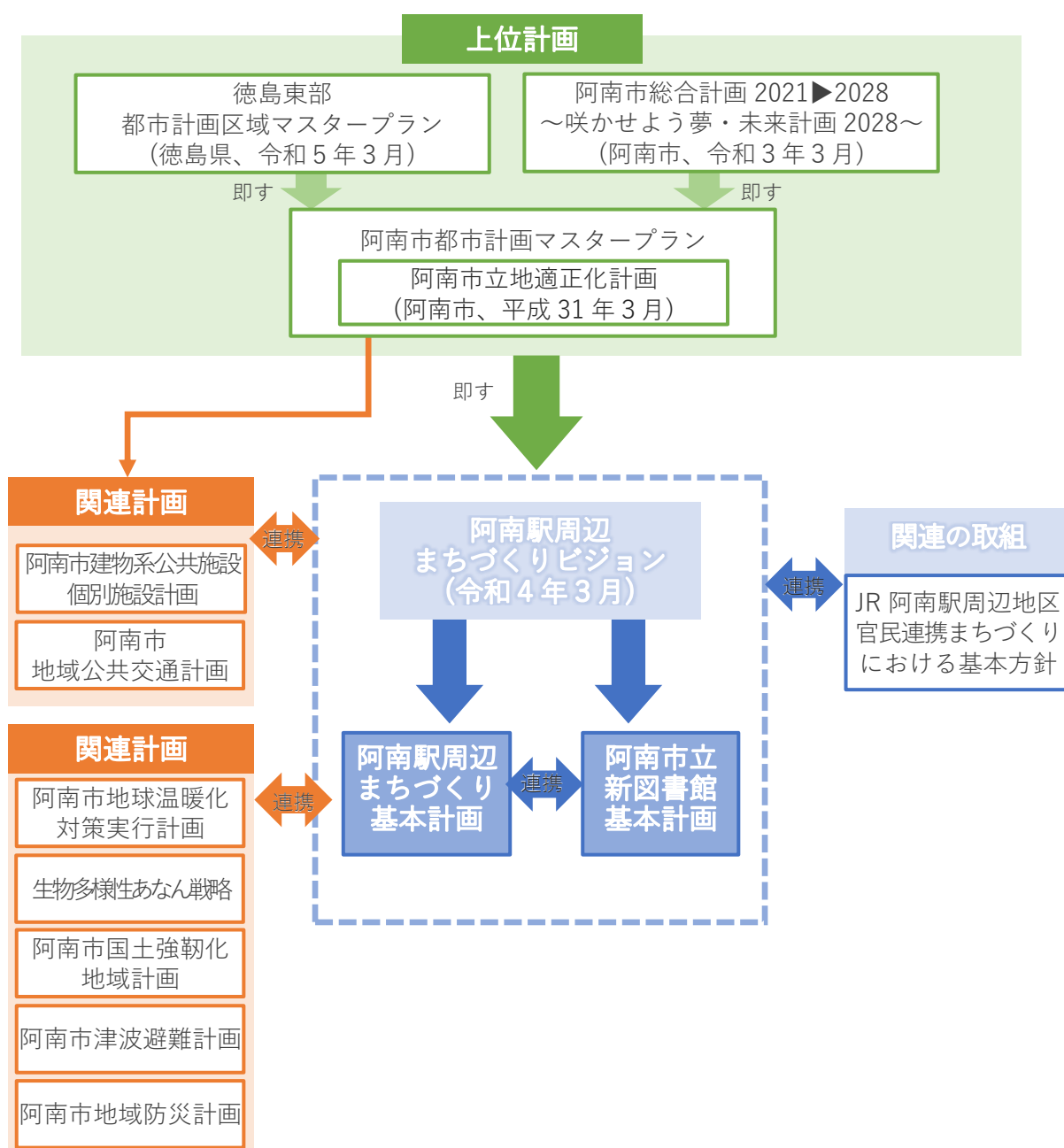
このような中、駅周辺地区における新たな賑わいの創出を目指し、市民会館解体後の跡地をはじめとする公共用地の活用を核とした公民連携のまちづくりを推進すべく、今後の具体的な施策のたたき台として令和3年度に阿南駅周辺まちづくりビジョン(以下「ビジョンという。」)を策定しました。

ビジョンでは、検討対象区域における20年後の目指すべき将来像の実現に向け、この間の取組を短期、中期、長期の時間区分に整理し、市民会館解体跡地における整備事業を起点とした段階的な取組期間を設定しています。

そのため、本基本計画においては、ビジョンにおける基本方針を踏まえ、検討対象区域全体を俯瞰したランドデザインの将来イメージを示すとともに、短期的取組として位置付けた市民会館解体跡地における具体的な整備基本方針を計画として取りまとめ、ビジョンの具現化を目指します。

## 2) 計画の位置づけ

本計画は、令和4(2022)年3月に策定した「阿南駅周辺まちづくりビジョン」の具現化に向けたまちづくりの基本計画であるとともに、本計画と並行して取組を進める「阿南市立新図書館基本計画」と連携する計画として位置付けます。また、上位計画である「徳島東部都市計画区域マスタープラン」や「阿南市総合計画 2021▶2028～咲かせよう夢・未来計画 2028～」等に即すとともに、関連計画及び関連する取組と連携する計画として位置付けます。



### 3) 計画策定の流れ

阿南市では、令和3(2021)年度に駅周辺の公共用地を有効活用した新たな拠点づくりに向けて、今後の具体的な施策のたたき台として「阿南駅周辺まちづくりビジョン」を策定しました。

ビジョンでは、阿南駅周辺に人を呼び戻す取組の必要性や公共施設、公共用地の積極的な活用の必要性等を駅周辺地区におけるまちづくりの課題として整理し、駅周辺の公共用地周辺をビジョンにおける検討対象区域として設定しました。計画期間は概ね20年後の令和24年とし、市民会館解体跡地の整備を短期的な取組とし、西側エリアの取組推進やその他の公共用地等の活用等を中長期的な取組として、段階的にまちづくりを推進することとしています。また、土地利用における基本的な考え方として、市民会館解体跡地を「新たな賑わいと交流の起点」となる複合拠点として、東西市街地のネットワークの強化によって東西市街地の連携を図り、一体性・波及性を高めることとしています。これらのまちづくりの課題、土地利用の方針に基づき、市民会館解体跡地、阿南図書館用地、商工業振興センター前用地における図書館機能等をコア機能とする導入機能の複数の配置案をとりまとめました。

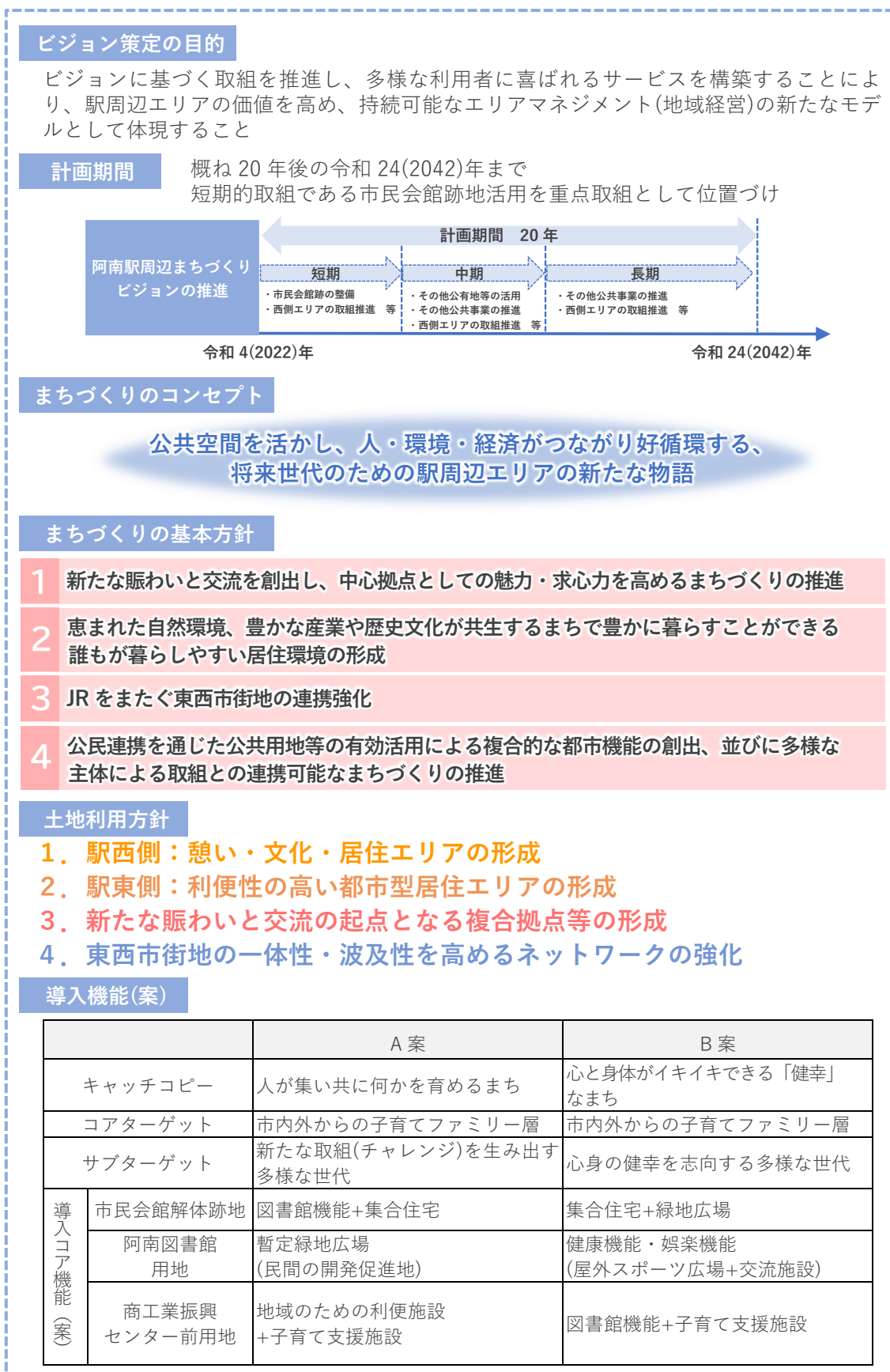
本基本計画では、ビジョンの方針を踏まえつつ、市民等の意向を広く把握しながら各公共用地における具体的な整備方針や事業手法等について検討を行いました。

そのため、本基本計画の策定過程においては、市民、地域の意向を把握することを目的として、市民アンケート調査や高校生・高専生アンケート調査、関係団体ヒアリング調査、市民ワークショップを実施し、多様な方々から本地区のまちづくりに関するニーズの把握を行いました。なかでも、市民アンケート調査では、市外居住者のニーズも把握するため、「市外からの転入者」に限定した分析を併せて行いました。また、市外居住者の視点及び来訪者のニーズを把握する調査として、宿泊施設利用者アンケートを実施しました。

そのほか、地区への導入機能や事業スキーム、まちづくりの推進体制についての検討における参考とするため、企業等ヒアリング調査を実施しました。

また、本基本計画の検討では、様々な分野の専門的かつ幅広い知見を有する有識者等から意見を聴取し、計画内容について審議するため、阿南市魅力ある都市づくり審議会を開催しました。

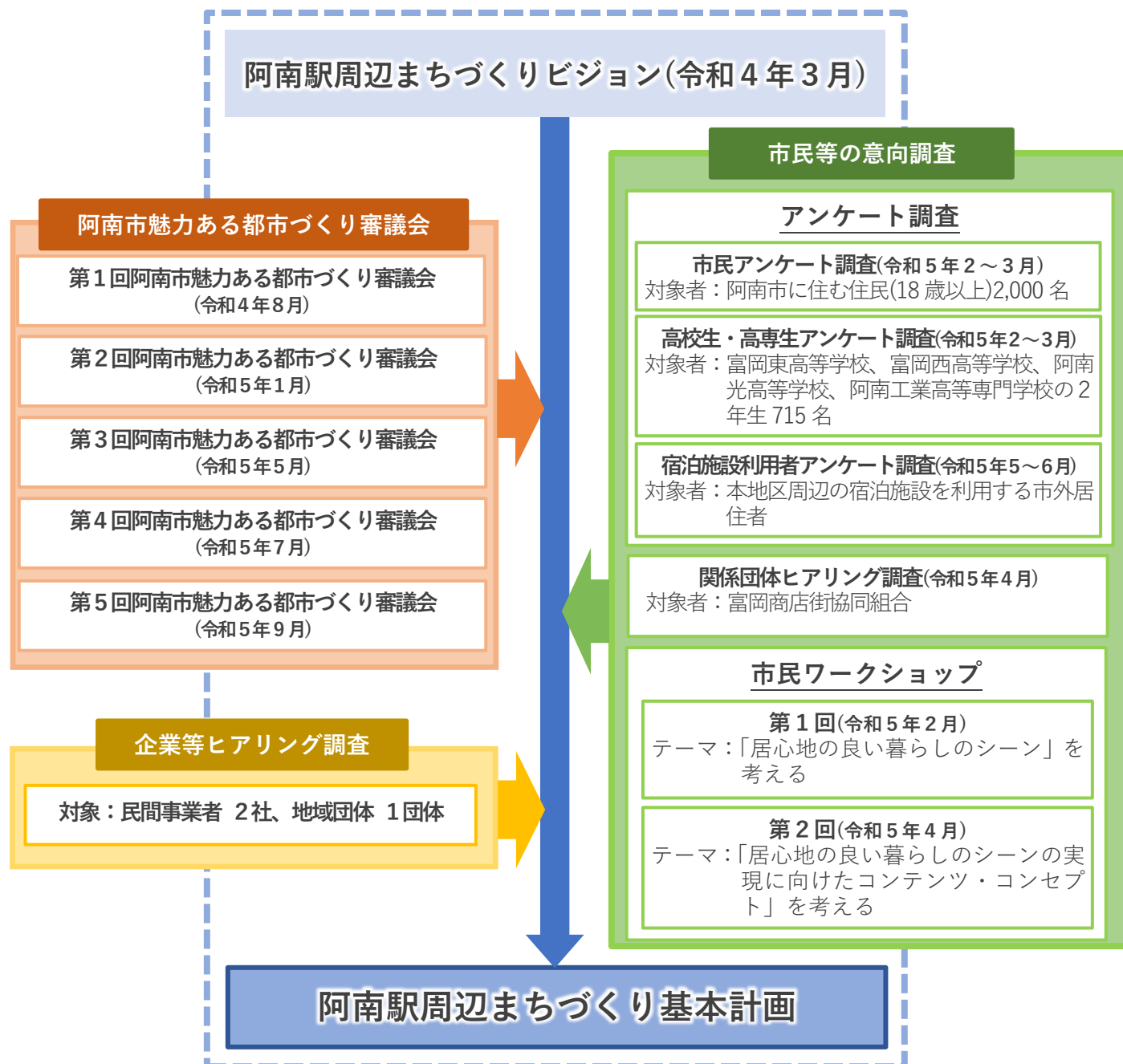
なお、「阿南駅周辺まちづくりビジョン」の概要は以下に示す通りです。



図：阿南駅周辺まちづくりビジョンの概要



市民、来訪者、事業者、団体等、多様な方々からの意見や要望を把握し、本計画の具体的な施策の検討の参考としました。



図：計画策定の流れ

また、本地区では、ビジョン策定段階より以下の事業、取組を行政、地域が主体となって推進しています。

### JR 阿南駅東側

#### 都市計画道路佃町滝ノ下線の整備

JR 阿南駅東側における南北動線の幹線道路の一つとして、主要地方道富岡港線から富岡東中学校・富岡東高校の西側、市道滝の下日開野線にかけて整備を推進しています。



図：事業位置図

### JR 阿南駅西側

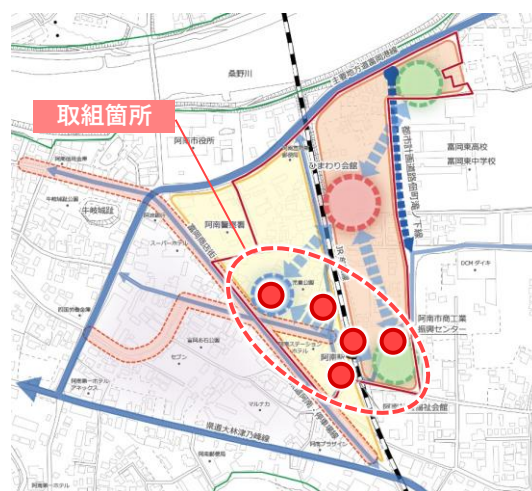
#### あなまちマルシェ等のイベントの取組推進

阿南市商工業振興センター1、2階のほか、阿南駅前児童公園、阿南駅前芝生広場、光のまちステーションプラザ、JR 阿南駅を会場とし、地域商業者が相互連携し地域の価値を高める取組として阿南まちゼミの会が中心となって毎年1回「あなまちマルシェ」を開催しています。

そのほか、様々な主体によるイベントが地区内で開催されています。



図：イベントの開催風景



図：イベントの取組箇所

図：ビジョン策定段階から地区内で推進している取組の概要

#### 4) 本計画の対象区域

本計画では、ビジョンにおいて、駅周辺の公共空間を活用したまちづくりをコンセプトに掲げていることから、駅東側の3つの公共用地、及び駅西側の駅前芝生広場とそれらの縁辺の街路、主要地方道富岡港線、県道阿南停車場線に囲まれる約 11.75ha を本計画の対象区域とします。

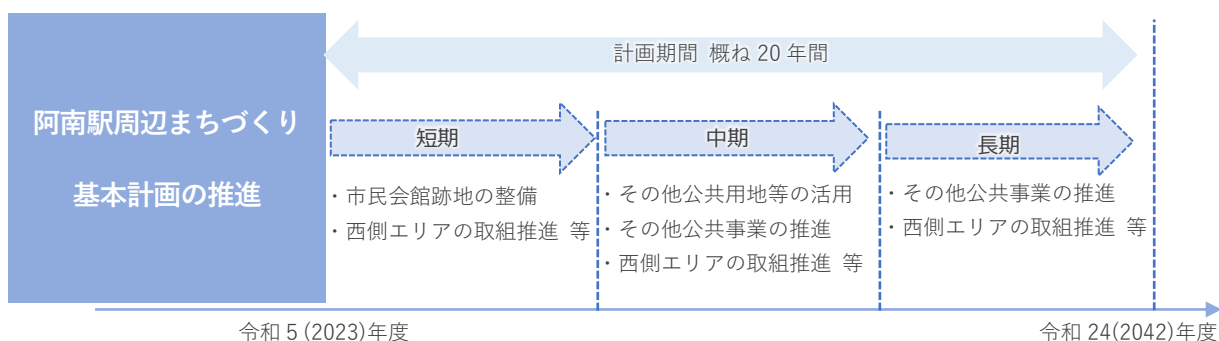


図：対象区域

## 2. 計画期間

本計画の計画期間の考え方は以下に示すとおりです。

- ・計画期間はビジョンで掲げる概ね 20 年後の令和 24(2042)年度までとします。
- ・本計画では、短期的取組である市民会館跡地活用を重点取組として位置づけ、短期的事業を起点とした段階的な取組期間を設定します。



図：計画期間

### 3. まちづくりの課題

ビジョンで整理した内容を基に、本計画におけるまちづくり上の課題を以下のとおり設定します。

#### 1) 阿南駅周辺に人を呼び戻す取組が必要

---

- ・人口減少により、阿南駅周辺の人口密度が低下することが予想され、商店街や商業・日常生活サービス施設等の維持が困難となる可能性があります。
- ・市街地の空洞化が進む中で、かつての活力が失われ、中心拠点としての機能低下が危惧されます。
- ・阿南市の中心拠点として、交流人口・居住人口を維持・拡大していくため、都市機能の強化を図る等、人を呼び戻す取組が求められます。

#### 2) 地域資源等の既存ストック、立地特性の有効活用が必要

---

- ・富岡商店街沿いを中心に空き店舗・空き家等が見られるため、それらの既存ストックの有効活用が求められます。
- ・阿南駅に近接しているにも関わらず、JR 東側を中心に低未利用地等が点在しており、駅周辺に相応しい、都市的土地利用への転換が求められます。
- ・対象区域は中心拠点に位置し、阿南市の豊かな自然環境や歴史文化資源が比較的身近にあるほか、市外通勤や臨海部をはじめ多数の企業が立地する市内就業地へのアクセス利便性が一定程度高い立地環境にあります。このような立地特性を活かすとともに、阿南市の中心拠点として、市内各地の地域資源と連携する取組が求められます。

#### 3) 東西市街地の連携を強化する取組が必要

---

- ・JR 阿南駅周辺は、JR を境とする東西市街地の行き来は、阿南駅自由通路を中心とした複数箇所でも可能となっています。
- ・駅周辺に公共施設をはじめ、商業・医療・福祉等の多様な都市機能が立地し、駅自由通路等により東西市街地はネットワークされているものの、連携という意味では不十分であり、集積の相乗効果が発揮しにくい状況です。
- ・阿南駅周辺の一体的な市街地の形成、中心拠点としての機能を強化していくため、東西市街地の連携を強化する取組が求められます。

#### 4) 公共施設、公共用地の積極的な活用が必要

---

- ・市民会館解体跡地や、低未利用の公共用地等があるため、中心拠点としての機能強化、地域活性化に向けた積極的な活用が求められます。
- ・JR 西側には、児童公園・芝生広場が整備されていますが、JR 東側には、公園・広場が整備されていません。また、人が集まる公共施設が立地していないため、人が交流・滞在できる空間整備や仕掛けづくりが必要です。

#### 5) 安全・安心なまちづくりに向けた各種計画との連携が必要

---

- ・昨今、災害の激甚化、頻発化による被害が全国で問題となっています。本地区においても那賀川・桑野川の想定最大規模降雨の浸水想定区域のほか、南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波浸水想定区域が全域で見られるなど、様々な災害リスクが予想されています。
- ・阿南市では上記を踏まえ、あらゆる災害に対して致命的な被害を負わない強さと速やかに回復するしなやかさを持つ「強靱な阿南市」に向けた計画である「阿南市国土強靱化地域計画」のほか、南海トラフ巨大地震発生後からの避難計画である「阿南市津波避難計画」を策定しています。そのほか、一般災害や地震・津波災害等に対して総合的な予防、応急対策及び復旧・復興対策を定めた「阿南市地域防災計画」、洪水もしくは地震による堤防の漏水と沈下発生時の水防、高潮もしくは津波発生による水災の警戒と防御のための「阿南市水防計画」を策定しています。
- ・本計画においても、これらの防災・減災に係る各計画と連携を図り、安全・安心なまちづくりを実現していくことが必要です。

## 4. 市民等からの意見・要望

本地区のまちづくりにおけるランドデザインの将来イメージ、短期的取組として位置付ける市民会館解体跡地における具体的整備基本方針を検討するための基礎的資料として実施した市民アンケート調査及びワークショップ、関係団体ヒアリング、宿泊施設利用者アンケート調査、企業等ヒアリング調査の内容を以下に示します。

### 1) 各種アンケート調査

#### (1) 調査の実施概要

表：調査の実施概要

	項目	内容
市民アンケート調査	実施目的	阿南駅周辺エリアにおける現状の満足度やニーズ、今後望まれる暮らしのシーンを把握し、公有地への導入機能検討や図書館整備箇所選定の考え方における参考資料として活用すること
	実施期間	令和5(2023)年2月9日(発送)～令和5(2023)年3月20日
	対象者	阿南市の住民(18歳以上)から無作為に抽出した2,000名
	配布・回収結果	配布数/回収数(回収率) 2,000票/647票(32.4%)
	質問項目	回答者自身のこと 性別、年齢、職業、家族構成、居住地域、居住年数、居住理由 阿南駅周辺の将来のまちづくりについて 本地区の利用状況、現状の満足度、不足していると思う機能、理想の暮らしのイメージ、新図書館の配置、図書館の併設機能、その他の公共用地の活用、阿南駅周辺のまちづくりの進め方
高校生・高専生アンケート調査	実施目的	市民アンケート調査と同様
	実施期間	令和5(2023)年3月13日～令和5(2023)年3月27日
	対象者	阿南市内の高校3校(富岡東高等学校、富岡西高等学校、阿南光高等学校)、及び阿南工業高等専門学校の2年生715名
	配布・回収結果	配布数/回収数(回収率) 715票/241票(33.7%)
	質問項目	市民アンケート調査と同様
宿泊施設利用者アンケート調査	実施目的	市外居住者の視点で阿南駅周辺エリアにおける現状の満足度やニーズ、今後望まれる暮らしのシーンを把握し、公有地への導入機能検討や図書館整備箇所選定の考え方における参考資料として活用すること
	実施期間	令和5(2023)年5月10日～令和5(2023)年6月30日
	対象者	宿泊施設の利用者
	配布・回収結果	配布場所/回収数 地区及び周辺の宿泊施設/11票
	質問項目	回答者自身のこと 性別、年齢、職業、家族構成、居住地域、宿泊した目的、居住理由 来訪者としての立場での質問 本地区で充実した方がよいと思う施設、または機能 移住を想定した質問 移住の理由、生活で重視する点、充実してほしい機能、理想の暮らしのイメージ、新図書館の利用で重視する点、新図書館に併設してほしい機能等

## (2) 調査の結果

調査結果については、市民アンケート調査及び高校生・高専生アンケート調査のほか、市外居住者の視点として、市民アンケート調査における市外からの転入者のみで集計した調査、宿泊施設利用者アンケート調査について整理しました。

### ●本地区で充実が必要としている機能

本地区で充実が必要としている機能については、いずれの調査においても「飲食機能」の割合が最も高い結果となりました。また、市民アンケートや高校生・高専生アンケートでは「娯楽機能」の割合が比較的高い結果となりました。

そのほか、市民アンケートや市外からの転入者アンケートでは「文化機能」の割合が高く、市外からの転入者では「滞在環境機能」についても割合が高い結果となりました。また、宿泊施設利用者では、「物販機能」の回答が多くみられました。

### ●暮らしのイメージ

暮らしのイメージについては、“誰が”は多様な年代をイメージされる回答が多く、“いつ”は「休日」と「仕事・学校帰り」等の回答が多い結果となりました。“どこで”は市民アンケートと市外からの転入者アンケートで「図書館」と「公園・広場」が多く、高校生・高専生アンケートと市外からの転入者アンケートでは、「飲食・商業施設」をイメージされる方が多くみられました。“誰と何する”では、いずれの調査でも「買い物・飲食」が多いほか、「談笑・憩い」も多くみられました。また、高校生・高専生アンケートでは、運動・健康、読書等が多くみられました。

### ●新図書館で重視する点

新図書館の利用で重視する点については、高校生・高専生アンケートを除くいずれの調査でも「駐車場台数が多く停めやすい環境」、「車でのアクセスのしやすさ」の割合が高く、自動車交通での交通利便性が一定程度重視される傾向にあります。そのほか、「館内の広さ」の割合も高く、広い床面積を希望する意見が多くみられました。

### ●新図書館に併設してほしい機能

新図書館に併設してほしい機能については、いずれの調査でも「カフェなどの休憩スペース」の割合が高く、高校生・高専生アンケートを除くアンケートで「キッズスペースなどの子どもが遊べる場」の割合が高い結果となりました。また、高校生・高専生アンケートでは「会話を楽しめる交流スペース」も高い回答として挙げられました。また、高校生・高専生アンケートと宿泊施設利用者アンケートでは「飲食店などの食事の場」が回答割合の高い意見としてみられました。

### ●新図書館以外で駅東側公有地に必要な機能

新図書館以外で駅東側公有地に必要な機能については、いずれの調査でも「飲食機能」と「健康機能」の割合が高いほか、市民アンケートや市外からの転入者アンケートで「滞在環境機能」の割合が高い結果となりました。高校生・高専生アンケートでは「物販機能」の割合が高い結果となりました。

表：アンケート調査結果

	市民アンケート		高校生・高専生アンケート		市外居住者の視点				
					市外からの転入者アンケート		宿泊施設利用者アンケート		
	回答	割合 (%)	回答	割合 (%)	回答	割合 (%)	回答	割合 (%)	
本地区で充実が必要としている機能	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	49	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	56	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	56	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	55	
	2 文化機能（図書館、博物館など）	45	2 娯楽機能	47	2 文化機能（図書館、博物館など）	49	2 物販機能（日用品、衣服など） 医療機能（内科、外科、小児科など）	27	
	3 娯楽機能	37	3 物販機能（日用品、衣服）	28	3 滞在環境機能	41	3 文化機能（図書館・博物館など）	18	
暮らしのイメージ	誰が	1 市民、みんなが、誰でも	39	1 学生	39	1 市民、みんなが、誰でも	29	1 家族がサラリーマン	9
		2 私	21	2 私	23	2 私	26	2 -	-
		3 家族	12	3 市民、みんなが、誰でも	23	3 家族	15	3 -	-
	いつ	1 休日・余暇	42	1 休日・休暇	45	1 休日・余暇 いつでも	42	1 毎日出張	9
		2 いつでも	40	2 仕事帰り・学校帰り	44	2 仕事帰り・学校帰り	14	2 -	-
		3 仕事帰り・学校帰り	13	3 いつでも	14	3 特別な日	2	3 -	-
	どこで	1 図書館	32	1 飲食・商業施設	20	1 公園・広場	36	1 駅周辺	9
		2 公園・広場	31	2 商店街	18	2 図書館	28	2 -	-
		3 商店街	20	3 公園・広場	16	3 飲食・商業施設	20	3 -	-
誰と何する	1 買い物・飲食	35	1 買い物・飲食	37	1 買い物・飲食	36	1 買い物・飲食	9	
	2 談笑・憩い	24	2 運動・健康	18	2 談笑・憩い	23	2 -	-	
	3 運動・健康	19	3 静かに読書（図書館）	17	3 運動・健康	20	3 -	-	
新図書館で重視する点	1 駐車台数が多く停めやすい環境	72	1 館内の広さ	64	1 駐車台数が多く停めやすい環境	71	1 駐車台数が多く停めやすい環境	55	
	2 車でのアクセスのしやすさ	54	2 自転車でのアクセスのしやすさ	41	2 館内の広さ	56	2 館内の広さ 車でのアクセスのしやすさ	27	
	3 館内の広さ	47	3 周辺に飲食ができるお店の立地	39	3 車でのアクセスのしやすさ	56	3 車でのアクセスしやすさ	27	
新図書館に併設してほしい機能	1 カフェなどの休憩スペース	62	1 カフェなどの休憩スペース	66	1 カフェなどの休憩スペース	63	1 カフェなどの休憩スペース	55	
	2 キッズスペースなどの子どもが遊べる場	38	2 飲食店などの食事の場	47	2 キッズスペースなどの子どもが遊べる場	44	2 飲食店などの食事の場	36	
	3 緑を感じる緑地広場	37	3 会話を楽しめる交流スペース	32	3 緑を感じる緑地広場	41	3 キッズスペースなどの子どもが遊べる場	27	
新図書館以外で駅東側公有地に必要な機能	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	42	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	60	1 飲食機能（カフェ、ファミレス、居酒屋など）	44	/		
	2 滞在環境機能（緑地広場、公園など）	36	2 物販機能（日用品、衣服など）	25	2 健康機能（スポーツ施設など）	32			
	3 健康機能（スポーツ施設など）	34	3 健康機能（スポーツ施設など）	22	3 滞在環境機能（緑地広場、公園など）	30			



## 2) まちづくりワークショップの概要

導入機能検討の参考とすること等を目的として2回にわたり市民等に参加いただいたまちづくりワークショップの開催結果は以下に示すとおりです。

### (1) 調査の実施概要

表：まちづくりワークショップの実施概要

項目	内容	
実施目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居住者、利用者目線での本地区の「居心地の良い暮らしのシーン」やその実現に向けて必要と考える「まちづくりのコンテンツ・コンセプト」を把握し、出された意見及び意見が導き出されたプロセスの考え方を導入機能検討における参考として活用すること</li> <li>・ ワークショップを通して各主体ができることは何かを参加者に考えていただくことにより、まちづくりの取組へ参加する担い手の発掘と担い手の意識啓発を行うこと</li> </ul>	
	第1回	第2回
実施日	令和5(2023)年2月11日(土)	令和5(2023)年4月15日(土)
実施場所	阿南市役所	
参加者数	21名	15名
テーマ	「居心地の良い暮らしのシーン」を考える	「居心地の良い暮らしのシーンの実現に向けたコンテンツ・コンセプト」を考える
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 阿南駅周辺地区のいいところや問題点を考える</li> <li>・ 居心地の良い暮らしのシーンのキーワードを考える</li> <li>・ キャッチフレーズを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要なモノ・コトを考える</li> <li>・ 取組の各主体ができることはなにかを考える</li> <li>・ まちづくりのコンセプトとなるとりまとめのフレーズを考える</li> </ul>

### (2) 開催結果

第1回では「居心地の良い暮らしのシーン」として、“中学生が図書館で勉強”や“図書館利用後に食事、映画をみる”等、**図書館を軸とした暮らしのシーン**がみられたほか、“人・生物のつながり”や“緑と水”等、**自然が感じられるシーン**、“回遊”や“歩行者天国”、“歩いて買い物ができる「おさんぼ街道富岡」”等、**居心地がよく歩きたくなるまちなかのシーン**がみられました。そのほか、“誰もが立ち寄れる地元カフェ(アナバカフェ)”や“様々な人が交流”、“学生団体等が起業のキッカケとなる拠点で過ごす”等、**様々な人たちと交流し、様々な居場所で過ごすことができる暮らしのシーン等、多様なシーン**が挙げられました。

第2回では「居心地の良い暮らしのシーンの実現に向けたコンテンツ・コンセプトを考える」として、“ウォーカブルな道路”や“オープンカフェ”等の**歩きたくなるまちなかの実現に必要な導入機能**、“緑地公園”や“コミュニティガーデン”等の**様々なアクティビティが生まれる公共空間の機能**、“皆が行きたい図書館”や“複合型図書館”といった**図書館の機能**、“学習スペース”や“フリースペース”等の**一人でも居心地のよい居場所機能**、“チャレンジカフェ”や“オープンカフェ”等の**賑わいをもたらす商業機能**が挙げられました。そのほか、各主体でできることとして、地域団体によるイベント実施や空き店舗の開放、木や花を植える活動、学生によるイベントの発案やプレイヤーとしてのまちづくりへの参加、行政による取組のサポートや公有地を貸し出す等の意見が挙げられました。

表：第1回ワークショップの結果

第1回テーマ：「居心地の良い暮らしのシーン」を考える	
班名	内 容
A 班	<p>&lt;キャッチフレーズ&gt; CAP ANAN -あ・あ・あ あなん！-</p>
	<p>&lt;居心地の良い暮らしのシーン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人・生物のつながりを感じられるまちで回遊できる暮らし</li> <li>・駅から牛岐城までの眺望が得られるまちなかの拠点での暮らし</li> <li>・緑と水の美しい公園でくつろげるまち!!</li> <li>・中学生が図書館で勉強する etc</li> </ul>
B 班	<p>&lt;キャッチフレーズ&gt; みんなでまちを育てていく！自然を感じるミニ文化の森、様々な人（国、年齢）が交流できるオルタナティブ、ダイバーシティな空間やオシャレなカフェもあり、子どもも大人も居場所があるまち</p>
	<p>&lt;居心地の良い暮らしのシーン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰でも立ち寄れる場、スタバではなく「アナバ（阿南バ）」</li> <li>・一番街を歩行者天国に！ （子どもがあそべる、食べ歩き・オープンカフェも可能に）</li> <li>・泊まれる図書館 etc</li> </ul>
C 班	<p>&lt;キャッチフレーズ&gt; いやしの緑と光あふれる阿南</p>
	<p>&lt;居心地の良い暮らしのシーン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑のある商店街を歩きたい。</li> <li>・カラオケ・映画館・ショッピングができる所がほしい！</li> <li>・図書館を利用し、食事した後、映画を観る。</li> <li>・誰かが奏でるストリートピアノに立ち止まる。 etc</li> </ul>
D 班	<p>&lt;キャッチフレーズ&gt; 居心地の良い図書館を中心に、東西の行き来が便利で、若者に魅力ある施設があり、起業・チャレンジでき、イベントも行われている、おさんぽ街道</p>
	<p>&lt;居心地の良い暮らしのシーン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生団体やボランティア団体が、起業のキッカケづくりとなる拠点（コワーキングスペース）にて、新事業に挑戦する。</li> <li>・阿南市に訪れた人が、車を駐車し、商店街にて、歩いて買い物をする（おさんぽ街道富岡）。 etc</li> </ul>

表：第2回ワークショップの結果

第2回テーマ：「居心地の良い暮らしのシーンの実現に向けたコンテンツ・コンセプトを考える」			
班名	キャッチコピー	必要なモノ・コト	各主体ができること
A 班	昭和のエモいまちづくり	<必要なモノ> 牛岐城・美感地区美術館 店(スイーツ・お土産)、オープンカフェ、ウォークアブルな回遊道路	<商店街・団体> シャッターの閉まったお店を開放 ピアノの先生が演奏するイベント、たまに有名な方を呼ぶ、市民の生活の中で表現する <大学生・高校生> 空き家を撮影したら活用案を提案するソフトを開発中 <行政> シャッターの閉まった店舗を借りて開放する、公共空間を貸し出す、牛岐城趾公園にピアノを置く <民間事業者> 所有者が安く貸し出して活用を促す <自治会・地元住民> 歴史を語る証人となる→学びなおす、デザイン(色など)を統一、植木鉢を置く
		<必要なコト> ストリートピアノ	<商店街・団体> SUPの競技イベントでつなげる <自治会・地元住民> イベントへの参加 <行政> 公園の整備でつなげる
		<必要なモノ> 親水空間、ランニング・イベント	<商店街・団体> 運営の仕組みを考える <自治会・地元住民> 特産品を使って名物パフェをつくる <大学生・高校生> 学生が店を出す、チラシの作成 <行政> お店を出す場所の提供 <民間事業者> チラシのデザイン会社のサポート、有名なパフェ屋さんを呼んでワークショップをする
		<必要なモノ> アナバカフェ	<商店街・団体><大学生・高校生><自治会・地元住民><民間事業者><行政> 木や花を植える、公園づくり
B 班	ア・ナ・バ(あなたのなごむ・ばしょ)	<必要なモノ> 自然・緑・公園づくり <必要なコト> 木や花を植える、公園づくり	<商店街・団体> 場所提供、保護活動団体と専門家協力 <大学生・高校生> イベントの発案、学園祭を地域で行う <行政> 場所を貸す <民間事業者> 情報発信、企業のスキルや技術を提供、資金調達 <自治会・地元住民> 運営、ボランティア団体の育成
		<必要なモノ> 複合型図書館 <必要なコト> 時間によって変化するカフェ・フリースペース、起業の勉強会	<商店街・団体> 図書館のカフェスペースへの出店 <大学生・高校生> PC教室の実施、SNSの発信 <行政> 場所の提供、広報活動 <民間事業者> 利用者を限らない居場所づくり  <自治会・地元住民> サークル活動による利用促進
C 班	共感を皆で実現するまち	<必要なモノ> 皆が行きたい図書館 <必要なコト> 場(機会)、プレイヤー、スーパーバイザー	<商店街・団体> 空き店舗・場所の提供、イベントの開催 <大学生・高校生> 学生がプレイヤーとして参加、セレクトショップの出店、SNSの発信、NPO法人「●●マーケット」の運営 <行政> エリア整備、取組のサポート、プレミアム商品券の配布 <民間事業者> 原資の提供、一般の方のチャレンジショップへの参加 会社などは社内で何かやりたいことを募集する <自治会・地元住民> 阿南市出身の絵本作家によるアート活動、アンケートによって地域住民の声を集める
D 班	学び実践できる街	<必要なモノ> 複合型図書館 <必要なコト> 時間によって変化するカフェ・フリースペース、起業の勉強会	<商店街・団体> 場所提供、保護活動団体と専門家協力 <大学生・高校生> イベントの発案、学園祭を地域で行う <行政> 場所を貸す <民間事業者> 情報発信、企業のスキルや技術を提供、資金調達 <自治会・地元住民> 運営、ボランティア団体の育成
		<必要なモノ> チャレンジショップ、セレクトショップ、コミュニティガーデン <必要なコト> 空き店舗の活用、シャッターをデザイン、SNSの発信	<商店街・団体> 場所提供、保護活動団体と専門家協力 <大学生・高校生> 学生がプレイヤーとして参加、セレクトショップの出店、SNSの発信、NPO法人「●●マーケット」の運営 <行政> エリア整備、取組のサポート、プレミアム商品券の配布 <民間事業者> 原資の提供、一般の方のチャレンジショップへの参加 会社などは社内で何かやりたいことを募集する <自治会・地元住民> 阿南市出身の絵本作家によるアート活動、アンケートによって地域住民の声を集める

### 3) 関係団体ヒアリング調査の概要

表：関係団体ヒアリング調査の実施概要

項目		内容
実施目的		商店街や地区内権利者の方々が考える地区の現状と今後の課題、ニーズを確認し、基本的な考え方や導入機能に反映すること、行政、民間、地域の各担い手によるまちづくりのあり方の参考とすること
実施日		令和5(2023)年4月15日
対象者		富岡商店街協同組合
ヒアリング項目		商店街や地区の現状についての認識
		地区のまちづくりに求めること(課題)
		必要と考える導入機能や取組
		その他
主な意見等	商店街や地区の現状についての認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年前と比較し、加盟店舗は20店舗ほど減少している。</li> <li>・飲食や物販など、どこまで導入するのかに関しては、今後の検討となる。西側の商店街が廃れることのないように、話し合いをしながら取組を進めていく。</li> <li>・東側から取り残されるのが心配である。図書館と合わせたまちづくりを進めながら、西側に人が流れるまちづくりをしてほしい。</li> </ul>
	地区のまちづくりに求めること(課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商売をやめる人は多いが基本的に人気のある場所なので、住む人は増えてくる要素はある。</li> <li>・牛岐城趾公園にてだいぶ賑わったが、キッチンカーも飽きられる。人の流れもあまり変わらないので、今後は空き店舗の活用に力を入れる方がよいと考える。</li> </ul>
	必要と考える導入機能や取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西をスロープで結ぶ等、東から阿波銀行の前まで人の流れをつくる連続性のある環境が欲しい。</li> <li>・香川の丸亀のように、マンションができれば周辺から人が入り、消費も増えるのではないか。</li> <li>・図書館と公園と水を活用した、人々が集う場が西側にできればいいのではないか。</li> <li>・学生が集まる場になればいい。空き店舗にスタディールームを作り、図書館と連動しながら、買い回りも可能となる仕掛けが必要である。</li> <li>・公園の中に、勉強のスペースやコンテナ店舗や飲食店があると面白い。</li> <li>・チャレンジショップの取組では補助金をもらっているが、商店街が支援できる環境があればよいと考える。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生・子育て世代、主婦等がメインターゲットと考える。</li> <li>・出店したい店の子がいたが、駐車場がなくて断念した経緯がある。商店街には一定の需要がある。</li> </ul>

#### 4) 企業等ヒアリング調査の概要

表：企業等ヒアリング調査の実施概要

項目		内容
実施目的		本地区の取組への参入・連携意欲や参入・連携の条件等についてヒアリングを行い、地区への導入機能や事業スキーム、まちづくりの推進体制の検討の参考とすること
実施日		令和5(2023)年7月6日、13日
対象者		図書館運営実績のある事業者、官民連携事業の実績を有する事業者、(一社)阿南青年会議所
ヒアリング項目		市民会館跡地の整備に対する参画の可能性と事業スキームについて 本地区の導入機能案、及び想定される連携内容
主な意見等	市民会館解体跡地の整備に対する参画の可能性と事業スキームについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件付きで事業参画が可能である。</li> <li>・事業参画の条件として、図書館機能を核とした複合施設において図書館及び付帯施設運営を民間委託する場合、住宅機能との複合は考えにくい。</li> <li>・想定される事業スキームは・施設整備後の指定管理もしくは業務委託導入、DBO・DB+O方式、PFI法に基づく事業(BTO・BOT)が考えられる。</li> <li>・自治体による直営方式が最も地域への貢献度・公益性が高いという認識。自治体による直営方式が難しい場合、指定管理等を実施することが望ましい。</li> <li>・PFI事業による運営事業期間は20~30年となる。時代のニーズが変化中、20~30年という運営期間ではなく、指定管理方式のように5年ごとに更新がある方が望ましい。</li> <li>・複合施設の導入機能案のうち、独立採算が可能なのは飲食機能のみであるが、どこの事業者にやっても収益化は難しい印象。飲食機能は地元でチャレンジショップ形式で地域貢献したほうが良いと考える。</li> </ul>
	本地区の導入機能案、及び想定される連携内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館と親和性が高い機能は学習塾、本屋、子ども一時預かり機能等である。</li> <li>・図書館導入機能について、地元商店との競合を回避した上での共存を意識する必要があり、本地区については阿南駅西側エリアとの共存が重要であると考えられる。</li> <li>・市民活動やイベントはオープンスペース等の外から見える場所で行うことが重要である。外から見えることで多くの参加者を募ることが可能となる。</li> <li>・阿南は大人が活動するより、子どもを巻き込んで活動することが効果的である。子どもを巻き込めば自然と大人も巻き込めると考える。</li> <li>・阿南高専等と連携し、図書館が教育の拠点となることが好ましい。</li> <li>・まちの課題として、駐車スペースが足りない課題がある。</li> <li>・地区内の導入機能を検討する場合、空き家の活用も検討すべき。</li> <li>・建物のしつらえや、電柱の地中化等、景観も考慮すべき。</li> </ul>

## 5. まちの将来像(居心地の良い暮らしのシーン)

まちづくりの課題を踏まえるとともに、阿南駅周辺まちづくり基本計画の策定に向けて行った市民アンケート調査をはじめとする各種調査、まちづくりワークショップで挙げられた意見等を踏まえ、阿南駅周辺地区における理想とする暮らしのシーンを以下のように設定します。

### まちなかで自由に時間を過ごせるまち

55歳女性：子育てがひと段落した近隣に住む女性

- 昼間はお友達と商店街や駅前でランチをしながら交流
- 夕食の買い出しに商店街で買い物
- 休日は健康のためにまちなかから川辺まで散歩
- 電車で遠出をするときは電車の時間まで駅前の待合スペースで時間を過ごし、子連れのお母さんや高校生などの多世代の人と交流



### 人が集い、ともに育めるまち

70歳男性：仕事を定年退職した地域活動に積極的な男性

- 趣味の音楽を活かし、音楽サークルを結成、週に1回のペースで図書館の活動スペースで仲間と練習
- 練習後は図書館の飲食スペースでサークル仲間や他のサークルと交流
- ボランティア団体にも参加し、図書館の市民活動室を拠点とし、地区内全域で活動
- 健康のために地区内の緑地で運動、まちあるき



## 子育てがしやすいまち

35歳女性：保育園と小学生の子どもを持つ近隣に住む女性

- 子どもが学校に行っている間、ママ友と商店街や駅前のカフェで交流
- 子育ての悩み事を商店街の相談スペースで相談
- 夕食の買い出しに商店街で買い物
- 休日、図書館で子どもと一緒に本を借りたり読み聞かせの催しに参加
- 休日は子どもと一緒に家族で公園や川辺で遊びや散歩



## 新たな仕事・産業が生まれるまち

35歳男性：起業し阿南市に拠点をもつ男性

- 平日午前は阿南高専と新技術の勉強会を開催
- 平日午後はコワーキングスペースで作業、他分野の仕事をしている人と出会えて、思いもよらぬコラボレーションが生まれる
- 夕食の買い出しに商店街で買い物
- 休日、図書館で子どもと一緒に本を借りたり読み聞かせの催しに参加
- 休日は子どもと一緒に家族で公園や川辺で遊びや散歩



## 若い世代を育むまち

17歳男性：阿南高専に通う阿南市外に住んでいる男性

- 授業で出た課題のために図書館で調べもの
- 放課後は友達と商店街で買い物やカフェでお茶
- 帰りの電車まで待合スペースで時間つぶし、多世代の人と交流
- 土日は友達と緑地広場で運動や語り



## 6. まちづくりのコンセプト及び基本方針

### 1) まちづくりのコンセプト

「阿南駅周辺まちづくりビジョン」におけるまちづくりのコンセプトを引継ぐこととし、以下に示します。

まちづくりの  
コンセプト

公共空間を活かし、人・環境・経済がつながり好循環する、  
将来世代のための駅周辺エリアの新たな物語

### 2) まちづくりの基本方針

「阿南駅周辺まちづくりビジョン」におけるまちづくりの基本方針を基に、本計画におけるまちづくりの基本方針を以下のとおり設定します。

まちづくりの基本方針

#### 1 新たな賑わいと交流を創出し、中心拠点としての魅力・求心力を高めるまちづくりの推進

- 阿南駅の西側には、中心市街地機能の中心である富岡商店街をはじめとする商業機能、官公庁機能や福祉機能等が集積しています。そのため、**市民会館跡地の活用を中心とした都市的環境に優れた賑わいと交流の創出を図り、西側の多様な都市機能の集積が一体となった中心拠点としての魅力・求心力を高めるまちづくりを推進**します。
- また、まちづくりの推進により、**地区内の消費を創出するとともに、消費が新たな地区内における投資を呼び込む好循環**の形成を目指します。

#### 2 恵まれた自然環境、豊かな産業や歴史文化が共生するまちで豊かに暮らすことができる誰もが暮らしやすい安全・安心な居住環境の形成

- 阿南駅周辺の人口密度は一定程度高いものの、今後の人口減少の進行による都市サービス機能の維持困難が懸念されるなか、まちなか居住促進による定住人口の確保が必要です。そのため、市民会館跡地の活用を起点としながら、**山や海に恵まれる市内の豊かな自然環境や市内各所にみられる歴史文化等の地域資源、就業環境が身近にあるまちの特色を活かした誰もが暮らしやすい居住環境の形成**を推進します。また、市内で想定される多様な災害リスクを考慮した**安全・安心な居住環境の形成**を目指します。

#### 3 JR をまたぐ東西市街地の連携強化

- JR 阿南駅周辺地区の東西エリアは JR 牟岐線を境に東西が連携する一体としたまちづくりが難しい状況にあります。そのため、**阿南駅西側と東側のエリアが一体となった中心拠点の形成に向けて、東西市街地の連携強化を見据えたまちづくりを推進**します。

#### 4 公民連携を通じた公共用地等の有効活用による複合的な都市機能の創出、並びに多様な主体による取組との連携可能なまちづくりの推進

- 都市的環境に優れたまちづくりを進めるため、**公民連携により市民会館跡地等の公共用地の有効活用**を推進し、**高次の複合的な都市機能の創出**を目指します。
- 阿南駅西側での**多様な主体により推進されている取組と中長期的に連携可能なまちづくりを推進**します。



## 7. 公共用地等における整備活用方針案

### 1) 段階的な取組の流れ

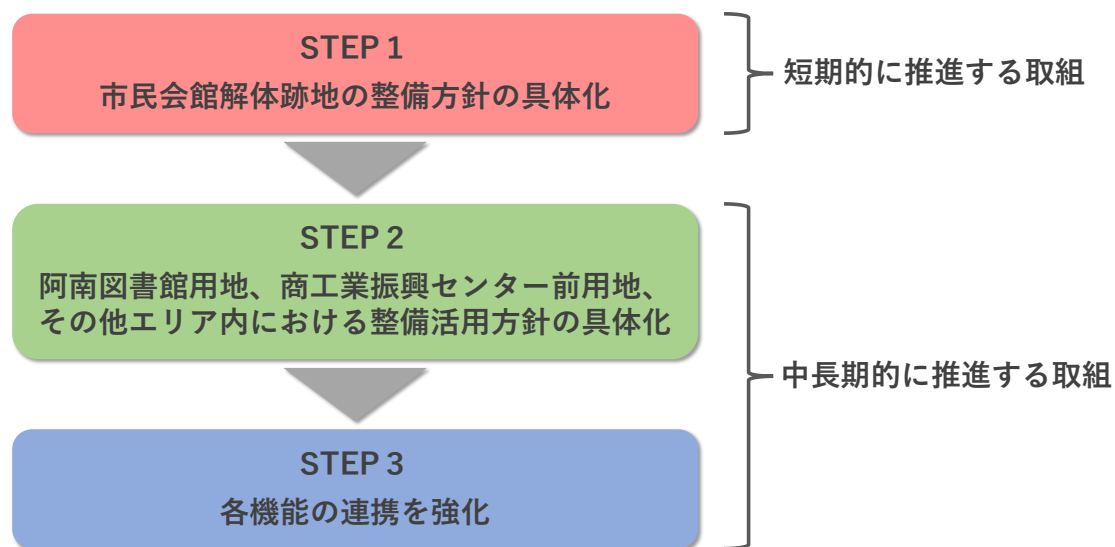
阿南図書館用地、市民会館解体跡地、商工業振興センター前用地の3つの公共用地及びその他の整備活用方針を定めます。

これらの公共用地のうち、まず、短期的に整備する用地として、面積が最も広く施設の解体除却の方針が決定し、解体に着手した市民会館解体跡地の整備方針を検討します。

また、市民ニーズの高い図書館機能を中心としたビジョンで示した「新たな賑わいと交流の拠点となる複合拠点の形成」を第一義的に検討します。

次に、中長期的に推進する取組として、阿南図書館用地、商工業振興センター前用地の2つの公共用地、その他エリア内において、活用方針を具体化することとします。また、各機能の連携を推進することにより、コンセプト及び基本方針の達成を目指します。

なお、各段階の取組を進めるにあたっては、現行の上位・関連計画における防災・減災対策とともに、今後新たに検討される防災・減災対策と整合を図りながら、安全・安心なまちづくりの実現を目指します。



図：段階的な取組の流れ

## 2) 短期的に推進する取組(市民会館解体跡地における整備方針の具体化)

### (1) 新図書館複合施設の整備箇所

市民会館解体跡地の活用を具体化するために市民会館解体跡地の整備方針を検討します。3か所の公共用地を検討する中で、市民ニーズが高くかつエリア内に存在していた機能である「新図書館」の整備箇所についてアンケート、ワークショップ、関係団体ヒアリングを実施しました。その調査結果をもとに求められる立地特性を評価し、阿南図書館用地、市民会館解体跡地、商工業振興センター前用地の3用地の中から新図書館複合施設の整備箇所を市民会館解体跡地に選定しました。

		調査結果	求められる立地特性
アンケート	市民	駐車台数が多く停めやすい環境が重視されている (72.0%)	① 敷地面積が大きい箇所への配置が求められる
		車でのアクセスのしやすさが重視されている (54.1%)	② 車でのアクセスがしやすい箇所への配置が求められる
		館内の広さが重視されている (46.7%)	③ 多くの床面積を確保できる箇所への配置が求められる
	学生	館内の広さが重視されている (63.9%)	③ 多くの床面積を確保できる箇所への配置が求められる
		自転車でのアクセスのしやすさが重視されている (40.7%)	④ 自転車でのアクセスがしやすい箇所への配置が求められる
		市外からの転入者	駐車台数が多く停めやすい環境が重視されている (70.6%)
ワークショップ	市民会館解体跡地	館内の広さが重視されている (56.3%)	③ 多くの床面積を確保できる箇所への配置が求められる
		車でのアクセスのしやすさが重視されている (55.6%)	② 車でのアクセスがしやすい箇所への配置が求められる
	市民	みどり豊か、静かな環境等の環境・デザインを大事にしたい意見が多い (1番目に多い)	① 敷地面積が大きい箇所への配置が求められる
		複合機能の多さ、多様な利用者等の多様性を大事にしたい意見が多い (2番目に多い)	③ 多くの床面積を確保できる箇所への配置が求められる ⑤ 多様な利用者が利用しやすい箇所への配置が求められる
		駅・バス停に近い東西の行き来がしやすい等の立地を大事にしたい意見が多い (3番目に多い)	⑥ 駅やバス停に近い箇所への配置が求められる ⑦ 東西の行き来がしやすい箇所への配置が求められる
	関係団体ヒアリング	人の行き来を促進させる仕掛けが必要	⑧ 人の行き来を促進させる箇所への配置が求められる
西側に人を誘導できる仕掛けが必要		⑦ 東西の行き来がしやすい箇所への配置が求められる	
高校生、子育て世代、主婦等の未来を見据えたターゲット設定が重要		⑨ 高校生がアクセスしやすい箇所への配置が求められる ⑩ 子育て世代、主婦がアクセスしやすい箇所への配置が求められる	



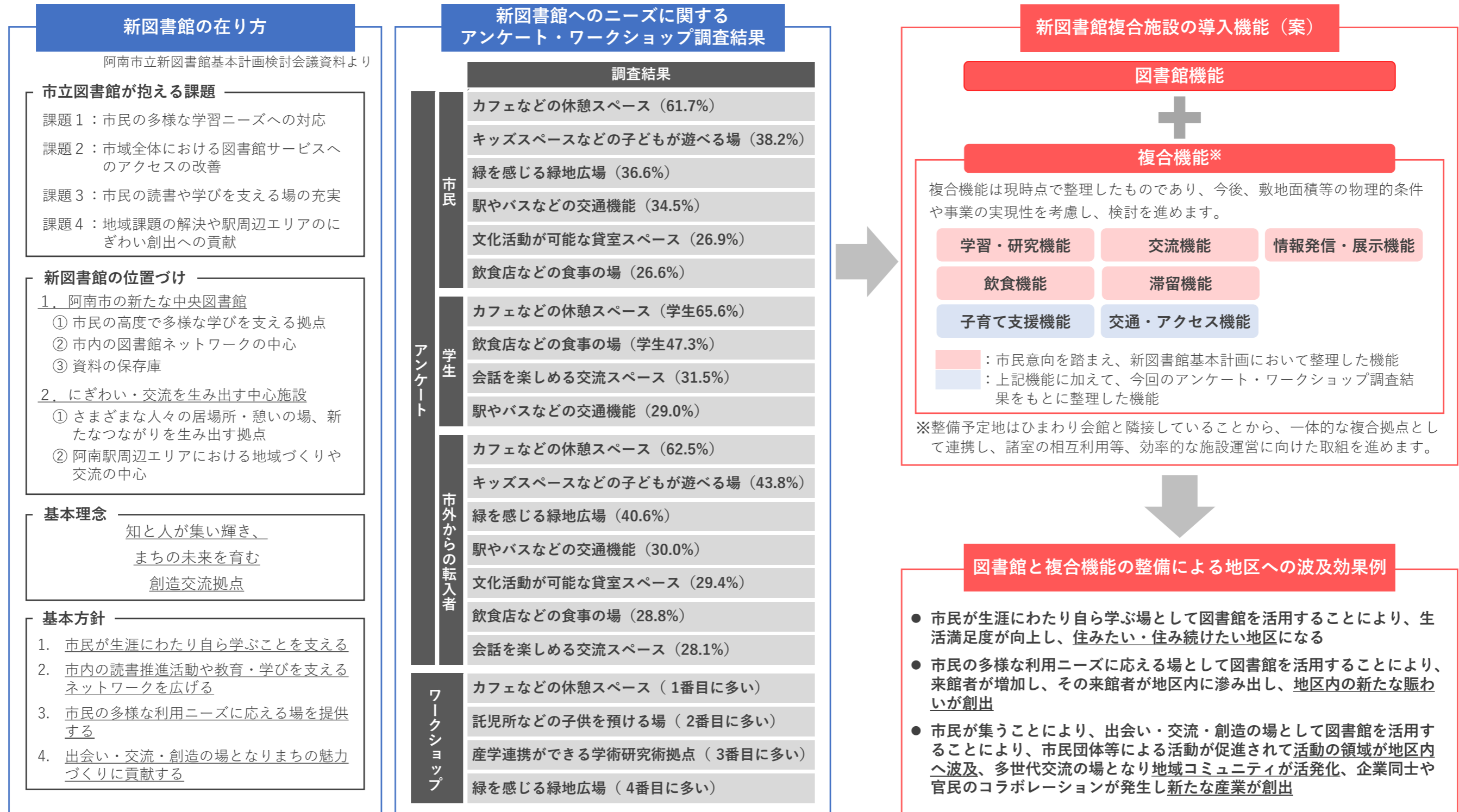
◎：2点、○：1点、△：0点

求められる立地特性	阿南図書館用地	市民会館解体跡地	商工業振興センター前用地
① 敷地面積が大きい箇所への配置	○	◎	△
② 車でのアクセスがしやすい箇所への配置	○	◎	△
③ 多くの床面積を確保できる箇所への配置	○	◎	△
④ 自転車でのアクセスがしやすい箇所への配置	○	○	○
⑤ 多様な利用者が利用しやすい箇所への配置	○	○	○
⑥ 駅やバス停に近い箇所への配置	△	○	◎
⑦ 東西の行き来がしやすい箇所への配置	△	○	◎
⑧ 人の行き来を促進させる箇所への配置	△	○	◎
⑨ 高校生がアクセスしやすい箇所への配置	△	◎	○
⑩ 子育て世代、主婦がアクセスしやすい箇所への配置	○	○	○
<b>合計</b>	<b>6点</b>	<b>14点</b>	<b>10点</b>

図：新図書館複合施設の整備箇所

## (2) 新図書館複合施設の導入機能案

図書館の従来機能の充実に加えて、一日中図書館で過ごせるような滞在環境や、幅広い市民活動及び市民同士の交流、創造的活動等に資する場の充実が求められています。こうした意向に応える諸室機能としては、以下に示す内容を想定し、今後、新図書館複合施設全体の機能配置等を検討する中で導入可否や配置等を検討します。



図：新図書館複合施設の導入機能案

### (3) 新図書館複合施設における各機能から想定される市民活動の例

各機能における想定される市民活動の例を以下に示します。なお、以下の内容は今後事業の実現性を考慮しながら検討を進めます。

図書館機能	新図書館複合施設に導入する機能（案）
<p style="text-align: center;"><b>新図書館の基本理念</b></p> <p style="text-align: center;">知と人が集い輝き まちの未来を育む 創造交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学習・研究機能</li> <li>■ 交流機能</li> <li>■ 情報発信・展示機能</li> <li>■ 飲食機能</li> <li>■ 滞留機能</li> <li>■ 子育て支援機能</li> <li>■ 交通・アクセス機能</li> </ul>

#### 図書館機能

- 新図書館基本計画のとおり

#### 学習・研究機能（個人ブース、コワーキングスペース 等）

- 市民が個室で学習・研究・テレワーク等を行う
- 市民が共有スペースで仕事・作業等を行う
- 市内企業や阿南高専等の教育機関が先端産業の共同研究開発を行う

#### 交流機能（グループ活動室、スタジオ、市民活動室 等）

- 市民が学習や文化活動、趣味のグループ活動を行う
- 市民が音楽・ダンス・合唱・演劇・創作等を行う
- 市民がボランティア等の市民活動を行う
- 多様な立場の市民が課題解決等のために対話し、創造的な取組を創出する

#### 情報発信・展示機能（ギャラリー、情報スペース 等）

- 市民が企画展示や市民活動の成果を展示する
- 市・関連機関・市民活動団体等がパンフレットの設置や活動内容等の情報発信を行う
- 阿南市科学センター、史跡若杉山辰砂採掘遺跡等の関係機関と連携し、施設案内や催し案内、展示等を行う

#### 飲食機能（カフェスペース 等）

- 市民がカフェで友達と交流する

### **滞留機能（広場 等）**

- 市民が屋外広場で休憩やイベントに参加する

### **子育て支援機能（キッズスペース 等）**

- 小さい子どもが遊ぶ
- 市民が授乳やおむつ替え等をする

### **交通・アクセス機能（駐車場・駐輪場、跨線橋、バス等の停留所 等）**

- 子連れの市民が利用しやすいゆとりのある駐車場
- 市民が雨天時にも濡れずにアクセスできるアプローチ
- 西側から来訪する市民、西側へ行く市民が線路を跨ぐ跨線橋またはデッキを利用する
- 市民がバスやグリーンスローモビリティ等でアクセスする

### 3) 中長期的に推進する取組

短期的な推進取組として新図書館複合施設の整備方針が具体化した後、中長期的取組として、図書館機能以外のエリア内に必要な以下の取組を実施することを検討します。

#### (1) 阿南駅東側（その他公共用地）

阿南駅東側の公共用地である「阿南図書館用地」、「商工業振興センター前用地」について、方針と導入機能（案）を以下に示します。

##### ◆ 阿南図書館用地

阿南図書館用地は、開発が誘導されるまでの暫定的なりザーブ用地として位置付けます。また、桑野川と近接している立地特性を活かし、河川との関連性が高い取組を実施します。

方針	導入機能（案）
水辺と地区内をつなげる 緑地空間の創出	■ 水辺や緑地空間、飲食機能

##### 水辺や緑地空間、飲食機能

- 開発が誘導されるまでの暫定的に利活用可能なりザーブ用地と位置づけ
- JR 阿南駅及び学校への近接性を活かし、エリア全体の付加価値を生む開発を誘導
- 憩いの空間やイベント開催地、団体の活動場所等の多様な用途に活用できる緑地広場空間を導入
- 民間提案制度等を活用し、広場空間内にコンテナやキッチンカー等による飲食機能を導入
- 桑野川への近接性を活かし、河川空間と関連性を持たせた空間を導入（SUP 等の川を活かしたアクティビティ拠点等）

#### ◆ 商工業振興センター前用地

商工業振興センター前用地では、駅前の利便性を活かし、駅利用者の交流や待合・滞留のための取組を実施します。

方針	導入機能（案）
駅利用の利便性を高め、 多様な交流が生まれる	■ 世代間交流機能 ■ 待合・滞留機能

#### 世代間交流機能

- 駅を利用する多様な世代の交流機能を整備
- 社会実験の試行や民間提案制度等を活用し、ケータリングサービス・マルシェ等の誘致を実施

#### 待合・滞留機能

- JR 阿南駅及び高速バス乗降場への近接性を活かし、現状不足している公共交通利用者のための待合スペースや、民間提案制度等を活用し、小売・飲食（カフェ等）等の機能を集約した地域のための滞在・交流空間を導入
- 世代間交流機能と連携し、多様な世代のニーズに応じ、様々なスタイルの時間消費を可能とする待合機能を整備

## (2) 阿南駅西側（商店街周辺）

阿南駅西側商店街周辺では、エリア内の賑わいを創出するため、まちなか拠点を創出します。

方針	導入機能（案）
まちなか拠点の創出	■ 児童公園と緑地広場の活用等の検討 ■ 子ども・子育て支援機能 ■ 飲食・娯楽機能

### 児童公園と緑地広場の活用等の検討

- より魅力的な西側区域とするため、憩いの場の形成に向けた阿南駅前児童公園や緑地広場のあり方・再整備を検討
- 緑地空間の整備を推進し、駅周辺地区内の豊かな緑地環境を形成
- 民間提案制度を活用し、官民連携による活用を推進

### 子ども・子育て支援機能

- ステーションプラザ内に子ども支援施設として、「子ども第三の居場所」の開設及び運営事業を推進
- 既存の子育て支援施設機能の事業の継続・推進を検討

### 飲食・娯楽機能

- 商店街等の空き店舗を活用し、飲食施設や娯楽施設の誘致を促進
- チャレンジショップの充実による新たな事業の開始を支援
- 多世代かつ様々なニーズに対応するとともに、生活利便性を向上することにより、魅力的な商店街を形成



### (3) 地区全体

地区全体では、エリア内の連携強化に寄与するウォーカブルな環境の創出やネットワークづくりの取組を実施します。また、まちなか人口増加のための取組を実施します。

方針	導入機能（案）
誰もが歩いて楽しめる ウォーカブルな環境の創出	■ 歩行者空間機能 ■ 低未利用地の活用促進 ■ 地区外縁部の駐車場活用・設置
地区内の各所をつなぐ ネットワークづくり	■ 緑道・フットパスの検討 ■ スローモビリティの導入検討
まちなかの人口増加	■ 居住機能の誘導

#### 歩行者空間機能、低未利用地の活用促進

- 歩行者ネットワーク実現・強化のために歩行者が通行しやすい環境を整備
- 街路再編等を実施し、オープンカフェやイベントへの活用、休養施設設置等による居心地のよい魅力的な歩行者空間の形成推進
- 歩行者空間整備にあたっては低未利用地の活用を併せて検討

#### 地区外縁部の駐車場活用・設置

- 他地区からのアクセス性向上及び地区内の歩行者ネットワーク促進のために地区外縁部に駐車場を設置
- 既存の市営駐車場の活用や低未利用地の活用を検討
- 公有地と民間低未利用地の利用権等の交換による駐車場の確保を検討

#### 緑道・フットパスの検討

- 既存の緑を活かすとともに、必要な場合は緑陰空間を新たに整備し、緑道として指定
- 水路際の小道における安全性向上に向けた柵等の設置
- 緑道や水路際の小道をフットパスとして位置づけ、歩行者ネットワークを強化し、地区内の回遊性を向上
- 生態系ネットワークに配慮した質の高い緑の整備
- 地域住民や親子が参加できる等、市民活動によるまちなか緑空間の整備

### スローモビリティの導入検討

- 地区及び周辺（商店街等）を周遊する低速モビリティサービスの導入を検討
- 小規模移動手段を提供する機能の導入
- 地区内の駅や施設等の拠点にはグリーンスローモビリティ等の停留所を設け各拠点の連携を強化

### 居住機能の誘導

- JR 阿南駅及び学校への近接性を活かし、ファミリー層のまちなか居住を誘導する住宅の立地を促進
- 空き家の取得支援や官民連携手法における対話を行い、人口増加に貢献する居住機能を誘導

## 8. 対象エリアのグランドデザイン（将来イメージ）

短期的に推進する取組、中長期的に推進する取組をもとに、対象エリアの20年後を目標とするグランドデザインを以下に示します。



図：対象エリアの20年後を目標とするグランドデザイン

## 9. 事業計画

本地区のまちづくりの実現に向け、以下の事業計画を想定します。なお、事業の進捗により、本スケジュールは変更の可能性があります。

### 1) 阿南駅東側

阿南駅東側3つの公共用地では令和10年度～令和11年度の新図書館複合施設供用開始に向け、以下のように各種事業を推進します。また、新図書館複合施設の供用開始に向けて令和8年度に2地区で社会実験※を実施し、事業の実現可能性を高めつつ、各事業の連携方策について検討します。

※社会実験：事業成功の確度を高め、地域におけるにぎわいの創出やまちづくり等に資する取組とすることを目的とし、整備に先立って、関係行政機関、地域住民、事業者等の参加のもと、場所や期間を限定して当該取組の試行・評価を行う。

表：市民会館跡地における事業計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
市民会館解体跡地	新図書館基本計画策定	官民連携事業可能性調査 社会資本整備計画策定	事業者公募	設計	設計	工事	新図書館供用開始
	市民会館解体工事			設計	工事	新図書館供用開始	
						民設民営方式による事業実施	
						公設公営・公設民営方式による事業実施	

表：阿南図書館用地、商工業振興センター前用地における事業計画

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
阿南図書館用地	解体設計	解体工事		物販・飲食等の社会実験 事業者や関係者等のニーズ把握	緑地・広場設計	緑地・広場整備	物販・飲食機能等の事業実施
商工業振興センター前用地				交流・物販・飲食等の社会実験	施設・広場整備	交流・物販・飲食機能等の事業実施	

社会実験

## 2) 阿南駅西側

阿南駅西側では以下の取組を段階的に実施します。

表：阿南駅西側における事業計画

児童公園と緑地広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体等との調整を行い、交流・物販・飲食等の社会実験を実施</li> <li>社会実験により実現可能性を高め、民間提案制度等を活用した交流・物販・飲食機能等の事業を実施</li> </ul>
飲食娯楽機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種検討及び調整を実施の後、物販・飲食等の社会実験を実施</li> <li>社会実験により実現可能性を高め、空き店舗等を活用したチャレンジショップ事業を実施</li> </ul>
歩行者空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>各関係機関等との調整を行い、歩道拡幅等の街路再編の社会実験を実施</li> <li>社会実験により実現可能性を高め、歩行者空間を段階的に整備</li> </ul>
地区外縁部の駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種検討及び調整を実施の後、地区外縁部駐車場の社会実験を実施</li> <li>社会実験により実現可能性を高め、地区外縁部駐車場を段階的に整備</li> </ul>
緑道・フットパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑道空間を段階的に整備</li> </ul>
スローモビリティの導入検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入検討後、スローモビリティ等の社会実験を実施</li> <li>社会実験により実現可能性を高め、スローモビリティ等を導入</li> </ul>
居住機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅整備の促進・住宅取得に対する支援を実施</li> </ul>

## 10. 実現化方策

### 1) 新図書館複合施設における整備運営手法について

新図書館複合施設の想定される整備運営手法パターンを以下に示します。

図書館がまちづくりの核として地域貢献を担い、時代の変化に柔軟に対応可能な整備運営手法となるように、各種検討を行います。

表：新図書館複合施設の想定される整備運営手法パターン

項目	事業方式			
	①公設公営方式	②公設民営方式 (指定管理方式)	③公設民営方式 (DBO方式)	④民設民営方式 (PFI方式)
民間 関与度	小			大
計画策定	公共	公共	公共	公共
資金調達	公共	公共	公共	民間
施設所有 (建設時)	公共	公共	公共	民間
建設	公共	公共	民間	民間
運営業務	公共	民間	民間	民間
概要	設計・建設・運営・資金調達を公共が実施する方式	施設等を公共が建設し、その管理運営を民間に委託する方式	公共が起債や交付金等により資金調達し、施設の建設、運営業務を包括的に民間事業者に委託する方式	民間事業者が自ら資金調達を行い、施設の建設、運営業務を行う事業方式

## 2) 新図書館複合施設の施設配置イメージ

### (1) 各施設の必要面積（仮設定）

新図書館複合施設敷地内の施設配置を検討する上で、新図書館複合施設の必要面積を検討します。なお本面積は仮設定を行ったものであり、今後の検討によって変更する可能性があります。

新図書館複合施設建物の必要延床面積について、図書館機能は「新図書館基本計画」に基づき 2,700 m<sup>2</sup>とし、その他複合機能は他事例をもとに 4,920 m<sup>2</sup>としました。

駐車場面積について、図書館利用者推計より、最低限必要な駐車台数を 70 台とし、駐車ます及び車路を考慮し、1,850 m<sup>2</sup>としました。なお、施設全体に対する駐車場は、ウォークアブルな環境の創出の観点より、対象エリア全体で確保するように検討します。

広場面積について、敷地面積から新図書館複合施設建築面積、駐車場面積等を除いた面積を広場面積とします。

表：新図書館複合施設の必要面積（仮設定）

機能名	施設名	規模	根拠
図書館機能	図書館	2,700 m <sup>2</sup>	新図書館基本計画より
学習・研究機能	個人ブース	120 m <sup>2</sup>	近年整備された図書館事例における類似機能諸室面積を参考に仮設定
	コワーキングスペース	120 m <sup>2</sup>	
交流機能	グループ活動室	130 m <sup>2</sup>	
	スタジオ	70 m <sup>2</sup>	
	市民活動室	50 m <sup>2</sup>	
情報発信・展示機能	ギャラリー	90 m <sup>2</sup>	
	情報スペース	50 m <sup>2</sup>	
飲食機能	カフェスペース	150 m <sup>2</sup>	
子育て支援機能	キッズスペース	30 m <sup>2</sup>	
小計		3,510 m <sup>2</sup>	
その他通路・諸室等		1,410 m <sup>2</sup>	小計の 4 割程度と想定
施設床面積計		4,920 m <sup>2</sup>	
交通・アクセス機能	駐車場	1,850 m <sup>2</sup>	図書館利用者数推計 70 台
滞留機能	広場	建築面積及び駐車場面積等を除いた一体的に確保可能な土地面積	

## (2) 新図書館複合施設における施設配置イメージの検討

形状や面積等の敷地条件、導入機能案等より想定される新図書館複合施設の施設配置イメージを複数案検討します。各パターンの概要は次ページ以降に示します。なお、これらの配置イメージは、今後の設計等の段階で改めて詳細に検討する必要があります。

表：新図書館複合施設における施設配置イメージ 4パターン

	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④
イメージ図				
新図書館階数	地上 2 階	地上 3 階	地上 3 階 地下 1 階	地上 3 階
敷地面積	6,353 m <sup>2</sup>	6,353 m <sup>2</sup>	6,353 m <sup>2</sup>	6,353 m <sup>2</sup>
延床面積	4,920 m <sup>2</sup>	4,920 m <sup>2</sup>	4,920 m <sup>2</sup>	4,920 m <sup>2</sup>
新図書館建築面積	2,460 m <sup>2</sup>	1,640 m <sup>2</sup>	1,640 m <sup>2</sup>	2,460 m <sup>2</sup>
駐車場面積	1,850 m <sup>2</sup> (地上駐車場)	1,850 m <sup>2</sup> (地上駐車場)	1,850 m <sup>2</sup> (地下駐車場)	1,850 m <sup>2</sup> (地上駐車場)
広場面積	約 1,500 m <sup>2</sup>	約 2,400 m <sup>2</sup>	約 4,500 m <sup>2</sup>	約 3,000 m <sup>2</sup>
○：特長 △：留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広い建築面積のため広々とした空間が確保できる</li> <li>○ 駐車場が建物及び広場の中間に設置され、2施設へのアクセスが良い</li> <li>△ 広い建築面積を要するため、広い広場面積を確保することができない</li> <li>△ 建物高さが比較的低いため、ランドマーク性に乏しい</li> <li>△ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設との関連性を持たせにくい</li> <li>△ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、屋上高さからのアクセスとなることが想定される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比較的コンパクトな建築面積であるため、広い広場面積を確保することができる</li> <li>○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる</li> <li>○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能</li> <li>○ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設と広場が隣接しているため関連性を持たせやすい</li> <li>△ 3階建て建物のため、広々とした空間が確保しにくい</li> <li>△ 駐車場から広場へのアクセスが悪い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比較的コンパクトな建築面積であり、駐車場を地下に配置しているため、最も広い広場面積を確保することができる</li> <li>○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる</li> <li>○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能</li> <li>○ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設と広場が隣接しているため関連性を持たせやすい</li> <li>△ 3階建て建物のため、広々とした空間が確保しにくい</li> <li>△ 駐車場から広場へのアクセスが悪い</li> <li>△ 市民会館解体後の杭等の地下残置物に配慮が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広い建築面積のため広々とした空間が確保できる</li> <li>○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる</li> <li>○ 駐車場が建物 1 階に設置され、2施設へのアクセスが良い</li> <li>○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能</li> <li>△ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設との関連性を持たせにくい</li> </ul>



## パターン①（新図書館複合施設2階建て、地上平面駐車場）

パターン①の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図は下記の通りです。

表：パターン①の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図

<p>設定条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新図書館複合施設は <b>2階建て建物</b> を想定し、新図書館複合施設の建築面積は約 2,460 m<sup>2</sup> と設定</li> <li>建物の配置は東西をつなぐ跨線橋整備の可能性を踏まえ、全てのパターンで敷地線路側（西側）に配置</li> <li>駐車場は外部からのアクセス及び建物へのアクセス性を考慮し、建物東側に <b>地上平面駐車場</b> として配置</li> <li>その他、敷地東側を約 1,500 m<sup>2</sup> の広場空間として配置</li> </ul>
<p>○：特長 △：留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広い建築面積のため広々とした空間が確保できる</li> <li>○ 駐車場が建物及び広場の中間に設置され、2施設へのアクセス性が良い</li> <li>△ 広い建築面積を要するため、広い広場面積を確保することができない</li> <li>△ 建物高さが比較的低いため、ランドマーク性に乏しい</li> <li>△ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設との関連性を持たせにくい</li> <li>△ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、屋上高さからのアクセスとなることが想定される</li> </ul>
<p>配置イメージ図</p>	

## パターン②（新図書館複合施設3階建て、地上平面駐車場）

パターン②の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図は下記の通りです。


表：パターン②の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図

<p>設定条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新図書館複合施設は<b>3階建て建物</b>を想定し、新図書館複合施設の建築面積は約1,640㎡と設定</li> <li>建物の配置は東西をつなぐ跨線橋整備の可能性を踏まえ、全てのパターンで敷地線路側（西側）に配置</li> <li>駐車場は外部からのアクセス及び建物へのアクセス性を考慮し、建物南側及び東側一部に<b>地上平面駐車場</b>として配置</li> <li>その他、敷地東側を約2,400㎡の広場空間として配置</li> </ul>
<p>○：特長 △：留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比較的コンパクトな建築面積であるため、広い広場面積を確保することができる</li> <li>○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる</li> <li>○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能</li> <li>○ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設と広場が隣接しているため関連性を持たせやすい</li> <li>△ 3階建て建物のため、広々とした空間が確保しにくい</li> <li>△ 駐車場から広場へのアクセス性が悪い</li> </ul>
<p>配置イメージ図</p>	

### パターン③（新図書館複合施設3階建て、地下平面駐車場）

パターン③の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図は下記の通りです。

表：パターン③の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図

<p>設定条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新図書館複合施設は<b>3階建て建物</b>を想定し、新図書館複合施設の建築面積は約1,640㎡と設定</li> <li>建物の配置は東西をつなぐ跨線橋整備の可能性を踏まえ、全てのパターンで敷地線路側（西側）に配置</li> <li>駐車場は外部からのアクセス及び建物へのアクセス性を考慮し、建物地下に<b>地下平面駐車場</b>として配置</li> <li>その他、敷地東側を約4,500㎡の広場空間として配置</li> </ul>
<p>○：特長 △：留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比較的コンパクトな建築面積であり、駐車場を地下に配置しているため、最も広い広場面積を確保することができる</li> <li>○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる</li> <li>○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能</li> <li>○ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設と広場が隣接しているため関連性を持たせやすい</li> <li>△ 3階建て建物のため、広々とした空間が確保しにくい</li> <li>△ 駐車場から広場へのアクセス性が悪い</li> <li>△ 市民会館解体後の杭等の地下残置物に配慮が必要</li> </ul>
<p>配置イメージ図</p>	

## パターン④（新図書館複合施設3階建て、建物1階部分地上平面駐車場）

パターン④の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図は下記の通りです。

表：パターン④の設定条件、特長・留意事項、配置イメージ図

<p>設定条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新図書館複合施設は<b>3階建て建物</b>を想定し、新図書館複合施設の建築面積は約2,460㎡と設定</li> <li>建物の配置は東西をつなぐ跨線橋整備の可能性を踏まえ、全てのパターンで敷地線路側（西側）に配置</li> <li>駐車場は外部からのアクセス及び建物へのアクセス性を考慮し、建物1階部分に<b>地上平面駐車場</b>として配置</li> <li>その他、敷地東側を約3,000㎡の広場空間として配置</li> </ul>
<p>○：特長 △：留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広い建築面積のため広々とした空間が確保できる</li> <li>○ 建物高さが比較的高いため、ランドマーク性に優れる</li> <li>○ 駐車場が建物1階に設置され、2施設へのアクセス性が良い</li> <li>○ 東西をつなぐ跨線橋を整備する場合、3階建物内からアクセスすることが可能</li> <li>△ 広場でイベントを実施する場合、新図書館複合施設との関連性を持たせにくい</li> </ul>
<p>配置イメージ図</p>	 <p>配置イメージ図は、敷地の西側に1F駐車場と2F~3F新図書館複合施設が配置されている様子を示しています。敷地の東側には広場が設けられています。また、敷地の西側には線路が走っていることが示されています。</p>

### 3) まちづくりの推進体制について

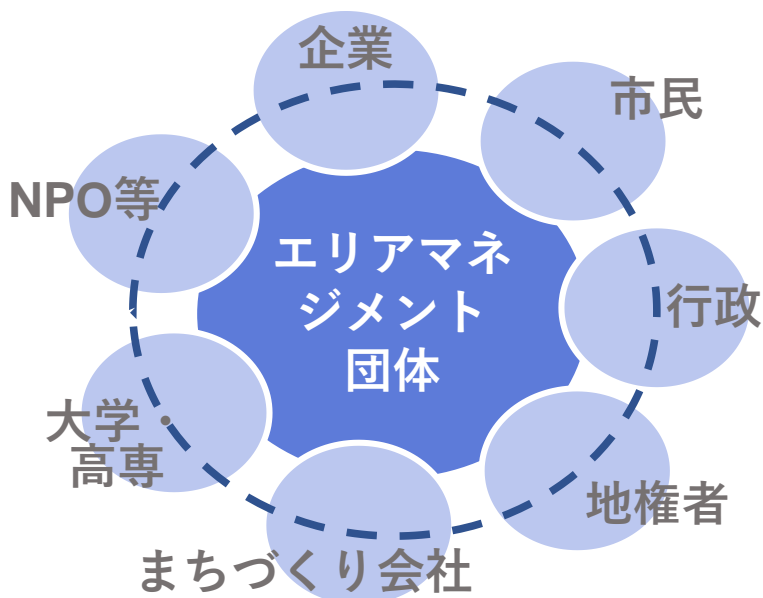
「阿南駅周辺まちづくり基本計画」に定めたまちづくりを推進するために、行政に加え、市民や企業などが主体的かつ継続的にまちづくりに関与できるまちづくりの推進体制を検討します。

住民や市民団体等は、地域に存在する課題に対し、様々な形で意見交換を行い、共通認識を持ちながら、自ら主体となって行動していきます。このようなまちづくりの積み重ねにより、地域課題に取り組む力が更に生まれ、まちのルールづくり、より自律的なまちづくり活動へと展開していきます。

事業者も企業活動を通じ、まちづくりに参画し、地域へ貢献していきます。また、まちづくりを行う際には、合意形成や周辺環境への配慮を行います。

行政は、まちづくりの目標の実現に向けて、民間事業の規制・誘導を行うとともに、住民主体のまちづくりや事業者によるまちづくりを促進・支援します。また、財政状況を考慮し、民間事業と連携した公共事業を実施します。

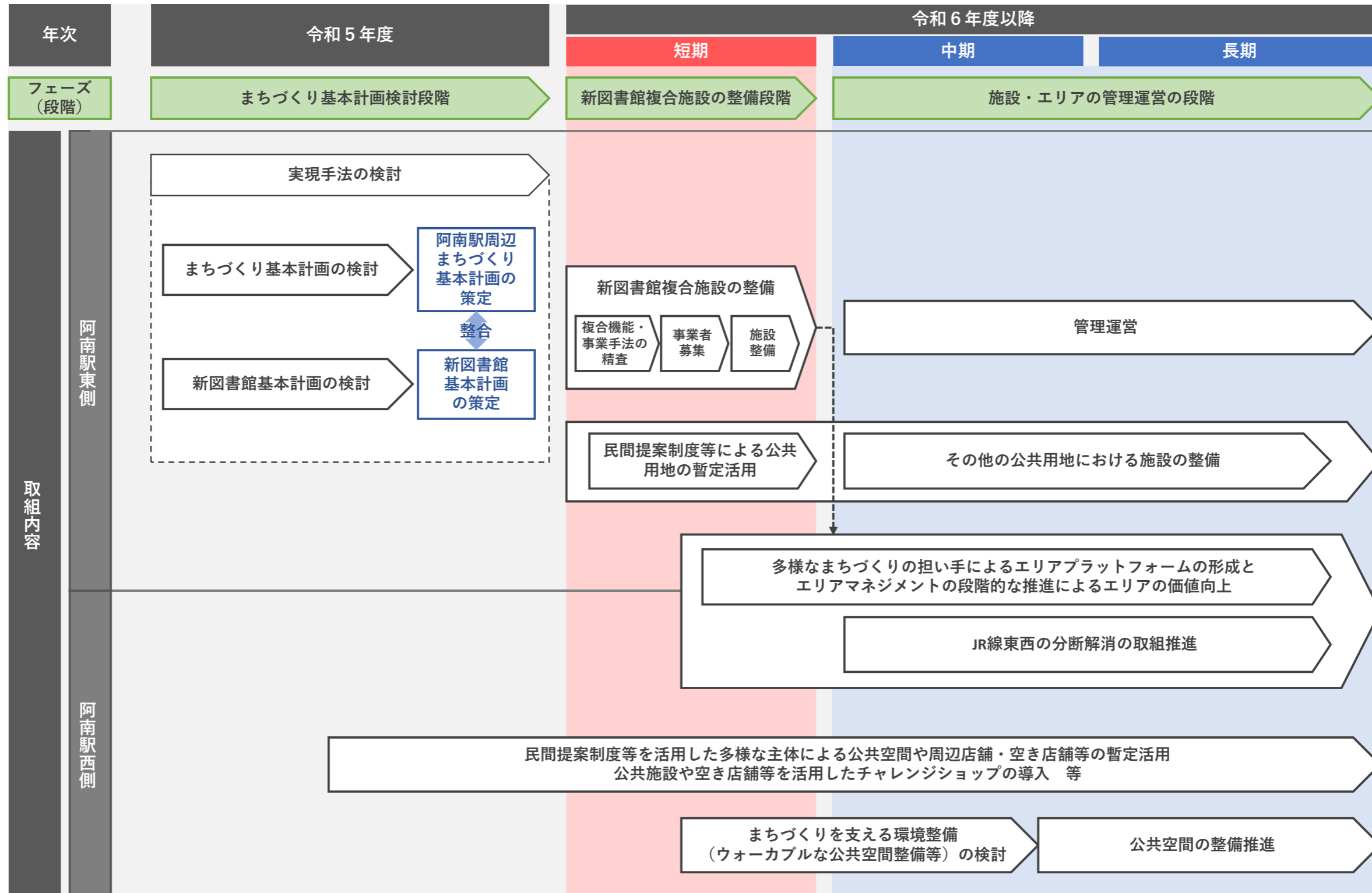
エリアマネジメント団体では、地域の課題やあるべき姿を共有した上で、活動を主体的に担う人材の発掘や育成は、既に実施しているトライアルサウンディング事業に加え、今後実施予定の各種社会実験や事業推進等を活用します。



図：エリアマネジメント団体の構成イメージ

#### 4) 事業スケジュール (案)

本地区のまちづくりの実現には、新図書館を中心とした複合施設の整備のほか、民間提案制度等による官民が連携した多様な取組を実践し、エリアマネジメントを推進することが求められます。そのため、新図書館複合施設の整備を第一段階としての短期的な取組と位置づけ、地区全体で中長期的に民間プレイヤーと連携した多様な取組を重ねながら、段階的にまちの将来像の実現を目指します。



図：事業スケジュール (案)

